



山 層 雲 峽 ビ ジ タ ル セ ン タ ー



【エゾナキウサギのっこ〜7月下旬〜8月上旬】早春に繁殖期に入り、春から夏にかけて3頭前後の仔を産みます。6週間ほどで成長しますが、8月末までに親の「なわばり」から出て行きます。この時、新たな「なわばり」を探し回るため、比較的観察する機会に恵まれます。まだまだ「あどけない」顔は明らかに仔とわかるほどです。しかし、寿命はなんと2〜3年と非常に短いのです……。仔のうち、あの独特な鳴き声は少なく「ちょろちょろ」と動き回るのを探してみてくださいね。あちらこちらから顔を出しますので、まるで「もぐらたたき」のようです。



【仔ギツネのその後～8月】先月号で掲載した仔ギツネのその後が気になり、同じ場所に出向いてみました。同じ個体かは不明ですが道路の傍らで寝ていました。こちらに気づき寄ってはくるものの警戒心たっぷりです。餌を探すわけでもなく、落ちていた清涼飲料水の缶でしゃれていました。親離れは秋ですが、随分と大きくなっていたため既に親と別れたのかな？と思いきや、遠くで親の鳴き声がし慌てて親元に帰って行きました。すると、なんと親の尾が……。ダニが原因の寄生虫病「疥癬病」という病にかかり毛が抜け始めていました。皮膚の中を喰い進みながら全身に回り、凄まじいかゆみと皮膚がボロボロになり、最終的には息絶えてしまう恐ろしい病気です。このセンターだよりでもたびたび掲載していますが、原因は人間……。人間が与える菓子類の甘さがキツネにとっては下剤となってしまう、結果、免疫力が落ち体の中はダニだらけ。感染力が相当に強く、周辺のキツネにも感染します。残念ながら、この仔ギツネも近いうちに感染するでしょう……。なんとも悲しい出来事です。 **餌やりは厳禁・ダメなのです！**



【ヒグマ～8月】8月中旬、大雪山系「凌雲岳」裾野と雲ノ平周辺の登山道のやや凌雲岳側でヒグマが採食中でした。肉眼で見ると右側写真。ほぼわかりませんね……。持参した250mmレンズでようやくヒグマとわかる写真です。このように、遠目にいるヒグマは「黒い点」のようです。こちらにも注意しなければわかりませんが、ヒグマも同様です。ヒグマはどこにでもいます。鳴り物は必ず持参し、突然の遭遇とならないようこちらの存在を知らせましょう。



【ケブカスズメバチ (キロスズメバチ) ～8月】

久しぶりに「モモンガ」の様子を見に出かけましたが、ん？ 巣穴がふさがって……。犯人は「スズメバチ」でした。前号でも掲載しましたが、この巣穴は数々の動物たちが利用していますが、まさかスズメバチまでもが……



【今年の高山植物～8月】

写真は北海道上川町々花「エゾツツジ」。まるで「ピンクのじゅうたん」のようで、行き交う登山者からも感嘆の声があちらこちらで上がっていました。今年の高山植物は気象等の影響で実に良い状態でした。前号にも掲載しましたが「キバナシャクナゲ」「チングルマ」写真の「エゾツツジ」や「チシマツグザクラ」「アオノツグザクラ」「イワヒゲ」「タカネスミレ」などが例年以上に群落状態となりました。気象の関係で、全ての高山植物が良い状態となったわけではありませんでしたが、数年ぶりに6月に降雪がない年でお花にも悪い影響が出なかったこと等が一つの要因としてあげられます。





【エゾライチョウ幼鳥～8月】

左が雌幼鳥・右が雄幼鳥。主に標高 200～800mの針広混交林、落葉広葉樹林に生息しています。成鳥は植物食で樹木の芽や枝・葉・果実・種子を食しますが、幼鳥時は昆虫などの動物質も食します。雄は3月末から縄張りを形成し雌とつがいを組み、繁殖期は5月、地上に巣を作り5～7個程度の卵を産み雌のみが抱卵します。産卵が終わると雄はつがいを解消し、幼鳥は雌と秋まで行動を共にします。この日も、雌雄の幼鳥と雌で林道を徘徊していました。



【ルリビタキ幼鳥～9月】 9月中旬、黒岳石室周辺でルリビタキの幼鳥に出会いました。「夏鳥」で繁殖期が長く「9月下旬に巣立ち記録あり」と図鑑でも紹介されている通り、この幼鳥もまさしくその通りのようです。

この周辺のルリビタキが他の小鳥よりもひと足遅れて津軽海峡を渡るのは、多分そうしたことのようです。標識調査によって、毎年秋遅く函館市の函館山を多数のルリビタキが通過していることが明らかになっています。

【紅葉前線スタート～8月】

8/24 黒岳山頂付近の「ウラシマツツジ」が赤く染まり「紅葉前線スタート」となりました。今年は色付き始めが例年になく早く(8/3)このまま進むと相当早目の紅葉になると思われましたが、その後の異常な気象の影響(高温)で色付きが遅れ、昨年比 11 日遅れの 24 日近辺に見頃を迎えました。限界の温度を超える強い光に急激にさらされた「葉」は、「葉焼け」や「茶枯れ」の現象をおこし、登山道脇を中心に枯れたウラジロナナカマド・ダケカンバが見受けられました。

8/下旬 ウラシマツツジ～ポン黒岳

9/下旬 烏帽子岳下部～カムイの森のみち

【アサギマダラ～9月】 センター初確認は 2016・8、2018・8、2019・8、2020・8.9 月。成鳥で約 6 cm 「ふわふわ」「ふんわり」と言う言葉がぴったりの飛翔です。秋に日本全土から南西諸島、台湾への渡りの個体が多く発見されています。直線距離で 1500 km 以上移動した個体もあり「旅をする渡り蝶」と呼ばれています。羽を広げると 10 cm 以上ある大きな蝶で、あまり人を恐れず寄ってきます。ここ数年黒岳の他に、緑岳・赤岳・当麻岳にも。



【ヒグマのふん～9月】

林道を走ると、やまぶどう・コクワ・どんぐりの生りがますますでしたが、やはり熊にとっては少ないのでしょうか・・・？この時期になると、人里に降りてきています。車で走行中も十分な注意が必要です。





観察会のおしらせ

2020年度・ビジター講座

- ・季節の観察会 10/18
- ・紅葉散策(層雲峡園地他) 10/9-14AMのみ
- ・キャンドル作り 10/10-12

★★観察会は事前申し込みが必要です★★
 ★★詳細についてはお問合せください★★

大雪山フィールドノート写真展

(日時) 常時展示
 【場所】ビジターセンターレクチャールーム
 (内容) 一年を通じた大雪山の自然を写真と解説文で紹介します。
皆様のお越しをお待ちしております。



いきものカレンダー

7月↓			9月↓		
7/27	仔ジカ 国道で車の犠牲に	層	9/3	ヒグマ糞、エゾライチョウ幼鳥	上
8月↓			9/4	エゾリス、シマリス	上
8/1	ジムグリ幼体	層	9/6	アサギマダラ 9/7も確認	層
8/2	シマヘビ	層	9/8	エゾユキウサギ、シマリス	上
8/3	国道39号線上川町側 ヒグマ糞、アサギマダラ	上	9/9	シマリス、ノスリ幼鳥	上
町内林道でアサギマダラ確認。			9/12	日暈	層
8/8	コサメビタキ幼鳥	上	9/13	ヒグマ糞	上
8/10	シマリス、エゾライチョウ幼鳥、モズ幼鳥 ヒグマ糞、ヒグマ	上	9/18	トドノネオオワタムシ(ユキムシ)	層
8/11	レンズ雲	層	上川・層雲峡気象↓		
8/12	シマリス、エゾライチョウつがい・幼鳥	上	7/31	上川町 月間日照時間(多)223.4h 7月観測史上2位	
8/13	レンズ雲	層	8/1	上川町 日最高気温28.9℃	
8/14	日暈	層	8/3	上川町 日最高気温29.4℃	
8/16	エゾライチョウ、シマリス	上	8/7	上川町 日最大瞬間最大風速25.4m/s 8月観測史上1位	
8/17	エゾタヌキ	上	8/11	層雲峡 日最高気温29℃ 上川町29.6℃(最低気温21.3℃)	
8/18	日暈(8/22 8/23 連続で出現)	層	上川町 日最大瞬間最大風速17.6m/s 8月観測史上5位		
8/19	ミンミンゼミ、ヒグマ、アリの巣掘り返し(上)	上層	8/20	層雲峡 日最低気温20℃	
ミンミンゼミ~かつては北海道全域に生息していたが、気候の寒冷化に伴い分布北限が南下していたが…。上川町・層雲峡確認			8/22	層雲峡 日最低気温8℃	
8/31	シマリス、エゾライチョウ幼鳥	上	8/23	上川町 日最低気温4.9℃ 8月観測史上4位	
黒岳気象他↓			8/27	上川町 日最高気温31.1℃	
7/26	ヤマビル、ウスバキチョウ		8/28	上川町 日最高気温31.2℃	
7/26	98号7/20 キバナシャクナゲ・エゾツツジに続いて テシマツガザクラも数年ぶりに群落形成 良い状態		8/30	層雲峡 日最高気温11℃	
8/3	シマリス、ナキウサギ、ウラシマツツジ早くも色付く		9/5	上川町 日最低気温(高)20.8℃ 9月観測史上1位	
8/14	凌雲岳下部 ヒグマ、ナキウサギ、カヤクグリ 九合目上部 ナキウサギ死骸 エゾオコジョ?捕食後		9/8	上川町 日最高気温30.3℃ 9月観測史上3位	
8/18	ナキウサギ、ウソ給餌、ノスリ 八合目下部 仔グマ足跡		カレンダー期間 07/21-09/20 観測地上・上川 層・層雲峡 黒・黒岳		
8/22	白雲岳避難小屋周辺 早朝気温2℃		【ブロッケン現象~9月】9月下旬早朝に現 れました。虹の10分の一程度と小さく、太 陽などの光が後方から差し込んで自らの影の 周りに色のついた光の輪が現れる不思議な大 気光学現象です。黒岳情報収集の為、偶然に もゴンドラ内に居合わせました。輪の中には ゴンドラが…。複数回の出現も驚きでした。		
8/24	ギンザンマンコつがい、ナキウサギ、エゾオコジョ 道北地方では数少ないソヒヨドリ雌 黒岳山頂に				
8/24	緑岳 アサギマダラ (その後、赤岳、当麻岳でも確認)				
8/25	8/26にかけて黒岳にて アサギマダラ				
8/28	久しぶりに黒岳頂上直下にてシマリス、アサギマダラ				
アサギマダラ~2016.8 2018.8 2019.8 2020.8確認。					
9/1	ナキウサギ、ノゴマ幼鳥、ルリビタキ幼鳥				
9/6	黒岳七合目 正午気温20℃				
9/12	ノゴマ幼鳥、ルリビタキ幼鳥 七合目早朝6℃				
9/17	ナキウサギ、仔リス				

【ブロッケン現象~9月】9月下旬早朝に現
 れました。虹の10分の一程度と小さく、太
 陽などの光が後方から差し込んで自らの影の
 周りに色のついた光の輪が現れる不思議な大
 気光学現象です。黒岳情報収集の為、偶然に
 もゴンドラ内に居合わせました。輪の中には
 ゴンドラが…。複数回の出現も驚きでした。



今回の子ビタね

久しぶりに山麓でシマリスに出会いました。
 が・・・お昼寝していました。



発行:大雪山国立公園



TEL 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401
 アドレス : <http://www.sounkyovc.net/>
 開館時間 6月~10月/8:00~17:30無休・入館無料
 11月~5月/9:00~17:00月曜日休(祝祭日は翌日)
 2020年09月25日発行 M・K

白黒紙面でご覧の皆様へ ~ パソコンをお持ちの方は、上
 記のアドレスで公開していますので、そちらもご覧下さい。